

高知 CST 協会会報 NO.10

高知CST協会 2019年3月20日発行

ごあいさつ

ー平成30年度高知CST養成事業(第3期)『高知CST養成・育成事業』のスタートー
年度末のお忙しい時期をお迎えのことと思います。本年度も、高知CST活動に参加・協力をいただきまして有難うございました。昨年8月には、2順目に入りましたが、「東部シンポジウム」(於:田野町ふれあい健康センター)を開催し、CSTの研修として多くの先生方に参加していただきました。企画担当の先生方、ご苦労様でした。2019年度もぜひシンポジウムの開催をお願いしたいと思います。

平成30年度から高知CST養成事業(第3期)は、『高知CST養成・育成事業』としてスタートしました。同時に、教職大学院が設置され、県からの派遣現職CST受講生は、本年度から「中級CST」に一本化しました。今年度の目玉として、高知大学の大学院に「高度化専攻」(一般的には教職大学院と呼んでいます)を設置し開講したことがあげられます。本専攻の最大の特徴は、高知県・高知大学が多くのCSTを養成し輩出した実績が高く評価され、現職の院生が「上級CST」の認定を受けることができる仕組み(学部卒の院生は、これまでの教育学専攻等と同じく「初級CST」の認定を受ける)を取込んだことでもあります。教職大学院にこのようなCST認定のシステムが導入されたのは、全国的にも高知大学大学院が初めてです。このことは、高知県の理科教育・指導力を向上させる高知CSTの先生方と共に実績を残してきた結果である、と受けとめていますので、CST養成事業を支えていただいたCSTの先生方と共に、喜びたいと思います。

このところCSTの活動として例年の事になってきましたが、授業の公開・研究会、新規教材の提案等々、いろいろありますが、今年度も理科教育学会の四国支部大会が高知で開催され、CSTの先生方には研究発表をしていただきました。CSTの活動の一環として、是非2019年度も研究発表の形で参加していただきますよう宜しくお願い致します。大学の教員がバックアップしますので、是非相談をお願いしたいと思います。

高知CST協会会長 蒲生啓司

2018年度 CST 活動

今年も多くのCSTが県内各地で活躍しました。今年の総活動件数は120件を超えています。いくつかの活動、行事を紹介します。

東部シンポジウム

2018年8月20日、およそ60名が参加しCSTの実践発表や講演会を通して、指導力の向上を図り、新学習指導要領が目指す理科の授業づくりを進める方策について検討しました。午後は、室戸ジオパークセンター、むろと廃校水族館において隣地学習を行いました。



高知県理科教育研究大会

高知県理科教育研究大会への参加は、第3期高知CST養成・育成事業においてもCST受講プログラムとして位置づいています。

2018年度は、南国市大篠小学校、香長中学校を会場に開催されました。多くのCSTが大会役員として、企画・運営面でも活躍していました。本研究大会は、12月の「高知CST活動報告会」と共に、CST相互の貴重な情報交流の場ともなっています。今年は、参加できなかったという皆さんも来年度はぜひ参加してみてください。高知県科学教育研究会では、「理科セミナー」「隣地学習会」「高知県小中学生科学発表会」などを主催しています。これらの研究会にも、多くのCSTが参加しています。CST相互の良い交流の場として活用して下さるようお願いいたします。



科学の祭典



2018年度も、多くのCSTが高知大学で開催される「青少年のための科学の祭典」に参加、出展しました。2018年度出展は以下の通りです。

- 鳴き声コップを作ろう
- 飛ぶプラコップーマグヌスコップー
- 貝殻アクセサリーを作って海辺の環境を学ぼう

編集後記

CST養成・育成事業も第3期、9年目に入りました。これまでに88名、今年認定者を加えると94名のCSTが認定されました。その活動件数は、近年100件を超えるようになってきました。皆様のご活躍が、高知県の理科教育を確実にリードしているということが、実感できる毎日です。これからも、相互に連絡を取り合い、ますます充実した活動のもと高知県の理科教育推進に寄与されることを期待します。

高知CST協会事務局 会報編集担当

高知CSTに関するご意見・ご要望は、高知CST事務局までお寄せください。

高知CST事務局：〒780-8520 高知市曙町2-5-1

高知大学 教育学部 理科教育講座 中城 満

TEL 088-844-8413

E-mail: mit-na@kochi-u.ac.jp